

平成27年度（公財）日本バレーボール協会公認B級・C級審判員資格審査会  
6人制筆記試験問題

平成27年8月23日（日）実施

**【注意】 解答用紙はすべて指定された解答欄に記入してください。**

問1 次の文章は、平成27年度6人制競技規則のうち「第1編 試合」の中の「第1章 施設と用具」について述べております。文章の中にある（ ）に当てはまる語句または数字を【語群】の中から選んで答えてください。【語群】の中の語句や数字は何度使っても構いません。

競技エリアは、コートと（ 1 ）を含む。長方形で（ 2 ）でなければならない。

コートは（ 3 ）m×（ 4 ）mの長方形で、最小限（ 5 ）mの幅のフリーゾーンで囲まれている。フリープレー空間は、障害物が何もない競技エリアの上方の空間で、競技をする表面から、最小限（ 6 ）mの高さがなければならない。

FIVB世界・公式大会では、フリーゾーンの幅はサイドラインから最小限（ 7 ）m、エンドラインから最小限（ 8 ）mなければならない。フリープレー空間は競技エリアの表面から最小限（ 9 ）mの高さが必要である。

表面は、平坦かつ水平で、（ 10 ）でなければならない。選手に（ 11 ）の危険が及ばないものでなければならない。粗い表面、または滑りやすい表面でプレーすることは禁止される。

FIVB世界・公式大会で許可されるのは、（ 12 ）または合成材の表面だけである。すべての表面は、事前にFIVBの（ 13 ）を受けなければならない。

FIVB世界・公式大会では、ラインは（ 14 ）でなければならない。コートとフリーゾーンは（ 14 ）以外の、それぞれ異なる色で区別する必要がある。

すべてのラインは幅（ 15 ）cmである。それらは明るい色で、フロアおよび他のラインと異なる色でなければならない。

コートは、2本のサイドラインと2本のエンドラインにより区画される。2本のサイドライン、エンドラインとも、コートの（ 16 ）に引かれる。

アタックラインは、それぞれのコートに、そのライン幅の後端がセンターラインの幅の中心から（ 17 ）mとなるように引かれる。アタックラインにより（ 18 ）が区画される。

FIVB世界・公式大会では、アタックラインはサイドラインから外側に、長さ（ 19 ）cm、幅（ 20 ）cmの短いラインを（ 21 ）cm間隔で、全長（ 22 ）mとなる破線を引き、延長される。

サービスゾーンは、それぞれのエンドラインの後方に位置する9mの幅を持つゾーンである。サイドラインの延長線上に、エンドラインの後方（ 23 ）cmに、（ 24 ）cmの長さで引く2本の短いラインにより両端を区画する。両方の短いラインは、サービスゾーンの幅に含まれる。

FIVB世界・公式大会では、ウォームアップエリアがそれぞれのベンチ側フリーゾーンの外側のコーナーに、約（ 25 ）m×（ 26 ）mの広さで設けられる。

ペナルティエリアは、それぞれのエンドライン延長線上の外側でコントロールエリア内に約（ 27 ）m×（ 28 ）mの広さで、（ 29 ）脚の椅子を用意し設けられる。ペナルティエリアは（ 30 ）cm幅の（ 31 ）ラインで区画される。

競技場の最低気温は、（ 32 ）℃（50°F）を下回ってはならない。

F I V B世界・公式大会では、最高気温は（ 33 ）℃（ 77 F°）を上回ってはならない。また、最低気温は（ 34 ）℃（ 61 F°）を下回ってはならない。

F I V B世界・公式大会では、照明の明るさは競技エリアの表面から（ 35 ）mの高さで測定し、1000～（ 36 ）ルクスでなければならない。

ネットはセンターラインの上に垂直に設置し、上端の高さは男子（ 37 ）m、女子（ 38 ）mである。

ネットの高さは、コート（ 39 ）で測定する。両サイドライン上のネットの高さは、完全に同じ高さで、規定の高さから（ 40 ）cmを超えてはならない。

ネットは縦幅1m、長さは（ 41 ）～10m（サイドバンドの外側は両端各25～50cm）で（ 42 ）cm角の黒い網目で作られている。

2本のサイドバンドが、ネットに（ 43 ）にしっかりと取り付けられる。その位置は両サイドラインの真上となる。サイドバンドは幅（ 44 ）cm、長さ1mで、ネットの一部とみなされる。

アンテナは長さ（ 45 ）m、直径（ 46 ）mmの弾性のある棒で、（ 47 ）または類似の素材で作られている。

アンテナの上部（ 48 ）cmはネット上方に伸び、この部分には（ 49 ）な色で、できれば赤と白で（ 50 ）cmごとのストライプを付ける。

アンテナは（ 51 ）の一部とみなされ、ネット上方の（ 52 ）の横の限界を定める。

ネットの支柱は、サイドラインの外側（ 53 ）～1mの位置に設置される。（ 54 ）mの高さで、高低の調節が可能なものとする。

ボールの規格は、円周（ 55 ）～（ 56 ）cm、重さ（ 57 ）～（ 58 ）g、内気圧（ 59 ）～（ 60 ）kg/cm<sup>2</sup>である。

問1の【語群】

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	12	14	15	16	18	20
25	30	60	65	67	69	80	90
0.30	0.310	0.325	0.5	1.75	1.8	2.05	2.15
2.24	2.38	2.40	2.43	2.55	6.5	9.5	12.5
100	260	270	280	1000	1300	1500	2000
赤い	白い	外側	白色	赤色	内側	対照的	左右対称
垂直	水平	サイン	許容空間	前端	中央部	後端	支柱
負傷	均一	木製	承認	指示	ネット	バック	鉄製
サービスゾーン	プラスチック	ファイバークラス	サイドライン	フロントゾーン	バックゾーン	フリーゾーン	エンドライン

問2 平成27年度6人制競技規則「第1編 試合」の中の「第4章 プレーの動作」及び「第6章 リベロ」に関する文章です。この文章の取り扱いについて、正しいものには○、誤っている部分があれば×を記入してください。

- (1) ボールは、主審に許可されたサービスのホイッスルをした時点で、インプレーとなる。
- (2) ボールは、身体のどの部分で触れてもよい。
- (3) 相手チームのプレーを妨害しなくても、選手は支柱、ロープ、またはアンテナの外側にあるネットや他の物体に触れてはならない。
- (4) サービスとは、バックライトの選手がサービスゾーンに位置し、ボールをインプレーの状態にする行為である。
- (5) サーバーは、主審がサービスのホイッスルをした後、6秒以内にボールをヒットしなくてはならない。
- (6) ブロッカーは、相手チームがアタックヒットを行うまでは、ネットを越えてボールに接触することができる。
- (7) 相手チームのサービスをブロックすることは許されない。
- (8) バックプレーヤーは、バックゾーン（フロントゾーンの後方）からであれば、どの高さでもアタックヒットを完了することができる。
- (9) 各チームは、記録用紙の選手リストの中から守備専門の選手であるリベロを2人指名しなければならない。
- (10) 試合中、いかなるときでもコートに立てるのは、1人のリベロだけである。
- (11) リベロは、どのポジションのどの選手とも入れ替わることができる。
- (12) リベロはバックプレーヤーとしてのみ活動することができ、いかなる場所からでも、ボール全体がネット上端より高い位置にあるときは、アタックヒットを完了することは許されない。
- (13) リベロは、サービス、ブロック、またはブロックの試みをしていても良い。
- (14) リベロが、自チームのフロントゾーン内で、指を使ったオーバーハンドパスで上げたボールは、他の選手がネット上端より高い位置からアタックヒットを完了することができる。
- (15) リベロとその入れ替わる選手は、リベロリプレースメントゾーンを通じてのみコートに出入りできる。

問3 次の文章は、競技規則「第7章競技参加者の行為」のうち「不法な行為とその罰則」についての取り扱いです。その内容が正しければ○を、誤っている部分があれば×を記入してください。

- (1) セットの開始前、またはセット間の不法な行為に対しては、直後のセットに罰則を適用する。
- (2) 軽度な不法な行為は、罰則の対象にはならない。主審には、チームが罰則のレベルに達しないように防ぐ義務がある。  
これは2段階で処置される。  
ステージ1：ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。  
ステージ2：該当する選手にレッドカードを使用して警告をする。
- (3) チームメンバーによる試合での最初の無作法な行為に対しては、相手チームに1点とサービスを与える罰則を適用する。（レッドカードを示す。）
- (4) 身体的攻撃をする、または攻撃的、威嚇的な行為は、それが1回目であっても退場となる。（イエローカード、レッドカードを一緒に示す。）
- (5) 同じ試合で、同じチームメンバーが無作法な行為を繰り返した場合、3度目の無作法な行為には、失格を適用する。（イエローカード、レッドカードを別々に示す。）

問4 次の文章は、競技規則「第5章 中断、遅延行為とインターバル」に関する用語の説明です。  
 ( ) にあてはまる語句を【語群】の中から選んで記入してください。

**1. 遅延行為の種類**

- (1) 正規の ( A ) を遅らせること。(規則15.10.2)
- (2) ( B ) するよう指示された後、中断をさらに引き延ばすこと。
- (3) ( C ) 選手交代を要求すること。(規則15.9)
- (4) ( D ) を繰り返すこと。(規則15.11.3)
- (5) ( E ) が試合を遅らせること。

**2. 不当な要求**

- (1) ( F ) , またはサービスのホイッスルと同時か、あるいはその後に試合中断を要求すること。(規則12.3)
- (2) ( G ) のないチームメンバーが試合中断の要求すること。(規則5.1.2.3, 5.2.3.3)
- (3) インプレー中の選手の負傷や病気の場合を除いて、同じチームが同じ中断中に ( H ) の選手交代を要求すること。(規則15.2.2, 15.2.3)
- (4) タイムアウトと選手交代の ( I ) を超えて要求すること。(規則15.1)
- (5) 試合での1回目の不当な要求は、試合に影響を与えず、試合の遅延にならなければ拒否される。制裁を受けることはないが、記録用紙には記録される。(規則16.1) 同じチームが試合中に、さらに不当な要求をした場合は ( J ) とみなされる。(規則16.1.4)

**問4の【語群】**

限界	不法な	不当な要求	ゲームキャプテン	タイムアウト
監督	正規な	試合を再開	アピール	試合中断
チームメンバー	3回目	ラリー中	要求する権利	ボールデッド後
2回目	許容回数	遅延行為	反則行為	人数

問5 次の文章は、平成27年度6人制競技規則「第2編 審判員とその責務および公式ハンドシグナル」の中の「主審および副審の責務」に関するものです。主審の責務であれば「F」を、副審の責務であれば「S」を、両方の責務であれば「FS」を記入してください。

- (1) 相手コートに向かうボールの全体またはその一部が副審側の許容空間外側を通過したとき、あるいは副審側のアンテナにボールが触れたとき。
- (2) ネットの上方の反則と、主としてアタッカー側のタッチネットの反則。
- (3) ボールがフロアに触れて、主審がその接触を確認できないとき。
- (4) ボールをプレーするときの反則。
- (5) 主としてブロッカー側のタッチネットの反則と、選手が副審側のアンテナに触れたとき。
- (6) サーバーおよびスクリーンを含むサービングチームのポジションの反則。
- (7) レシービングチームのポジションの反則のとき。
- (8) 自チームのフロントゾーン内にいるリベロが指を使ったオーバーハンドでパスを上げたボールを、他の選手がネット上端より高い位置でアタックヒットを完了したときの反則。
- (9) 相手コートおよびネット下方の空間へ侵入したとき。
- (10) バックプレーヤーがブロックの完了をしたとき、またはリベロがブロックの試みをしたとき。

平成27年度（公財）日本バレーボール協会公認B級・C級審判員資格審査会

6人制筆記試験解答用紙

所属		氏名	
----	--	----	--

問1（60問）

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40
41	42	43	44	45
46	47	48	49	50
51	52	53	54	55
56	57	58	59	60

問2 〈15問〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)

問3 〈5問〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問4 〈10問〉

1. 遅延行為の種類	(1)	2. 不当な要求	(1)
	A		F
	(2)		(2)
	B		G
	(3)		(3)
	C		H
	(4)		(4)
	D		I
	(5)		(5)
	E		J

問5 〈10問〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

平成27年度（公財）日本バレーボール協会公認B級・C級審判員資格審査会

6人制筆記試験解答用紙

所属		氏名	<b>模範解答</b>
----	--	----	-------------

問1 (60問)

1	2	3	4	5
<b>フリーゾーン</b>	<b>左右対称</b>	<b>1 8</b>	<b>9</b>	<b>3</b>
6	7	8	9	10
<b>7</b>	<b>5</b>	<b>6. 5</b>	<b>1 2. 5</b>	<b>均一</b>
11	12	13	14	15
<b>負傷</b>	<b>木製</b>	<b>承認</b>	<b>白色</b>	<b>5</b>
16	17	18	19	20
<b>内側</b>	<b>3</b>	<b>フロントゾーン</b>	<b>1 5</b>	<b>5</b>
21	22	23	24	25
<b>2 0</b>	<b>1. 7 5</b>	<b>2 0</b>	<b>1 5</b>	<b>3</b>
26	27	28	29	30
<b>3</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>5</b>
31	32	33	34	35
<b>赤い</b>	<b>1 0</b>	<b>2 5</b>	<b>1 6</b>	<b>1</b>
36	37	38	39	40
<b>1 5 0 0</b>	<b>2. 4 3</b>	<b>2. 2 4</b>	<b>中央部</b>	<b>2</b>
41	42	43	44	45
<b>9. 5</b>	<b>1 0</b>	<b>垂直</b>	<b>5</b>	<b>1. 8</b>
46	47	48	49	50
<b>1 0</b>	<b>ファイバークラス</b>	<b>8 0</b>	<b>対照的</b>	<b>1 0</b>
51	52	53	54	55
<b>ネット</b>	<b>許容空間</b>	<b>0. 5</b>	<b>2. 5 5</b>	<b>6 5</b>
56	57	58	59	60
<b>6 7</b>	<b>2 6 0</b>	<b>2 8 0</b>	<b>0. 3 0</b>	<b>0. 3 2 5</b>

問2 〈15問〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
×	○	×	○	×
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	○	○	×	○
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
×	○	×	×	○

問3 〈5問〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	×	○	×	○

問4 〈10問〉

1. 遅延行為の種類	(1)	2. 不当な要求	(1)
	A 試合中断		F ラリー中
	(2)		(2)
	B 試合を再開		G 要求する権利
	(3)		(3)
	C 不法な		H 2回目
	(4)		(4)
	D 不当な要求		I 許容回数
	(5)		(5)
E チームメンバー	J 遅延行為		

問5 〈10問〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
S	F	S	F	S
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
F	S	F	S	FS